

国土交通省の業務等の概要

1. 国土交通省の所掌する業務の概要

国土交通省は国土の総合的かつ体系的な利用、開発及び保全、そのため社会資本の総合的な整備、交通政策の推進、気象業務の健全な発展並びに海上の安全及び治安の維持を図ることを任務とし、この任務を達成するために必要な事務をつかさどる。

2. 国土交通省の会計間の財政資金の流れ

以下のとおり、一般会計から各特別会計への繰入を行っている。

- ① 道路整備、治水、港湾整備、空港整備の各特別会計の事業に要する経費の財源の各特別会計への繰入
- ② 自動車検査登録特別会計における自動車重量税の納付の額の確認等の事務に要する経費の財源の同特別会計への繰入
- ③ 都市開発資金融通特別会計における都市開発資金貸付金の財源の一部に充てるための同特別会計への繰入

3. 歳入歳出決算の概要

(1) 一般会計

① 歳入

平成16年度における国土交通省主管歳入予算額は、66,012百万円であって、その内訳は当初予算額28,480百万円、予算補正追加額37,543百万円、予算補正修正減少額11百万円である。

この予算額に対し、収納済歳入額は68,528百万円であって、差引き2,516百万円増加した。

② 歳出

平成16年度における歳出予算現額は9,165,567百万円であって、その内訳は歳出予算額8,380,363百万円（当初予算額7,181,423百万円、予算補正追加額1,405,955百万円、予算補正修正減少額15,838百万円、予算移替増加額42,889百万円、予算移替減少額234,067百万円）、前年度繰越額763,508百万円、予備費使用額21,695百万円である。

この予算現額に対し、支出済歳出額は7,840,859百万円、翌年度繰越額は1,271,979百万円、不用額は52,728百万円である。

(2) 自動車損害賠償保障事業特別会計

① 保障勘定

イ 歳入

平成 16 年度における歳入予算額は、76,254 百万円である。

この予算額に対し、収納済歳入額は 76,846 百万円であって、差引き 591 百万円増加した。

ロ 歳出

平成 16 年度における歳出予算現額は歳出予算額 8,566 百万円である。

この予算現額に対し、支出済歳出額は 7,868 百万円、不用額は 697 百万円である。

②自動車事故対策勘定

イ 歳入

平成 16 年度における歳入予算額は、17,312 百万円である。

この予算額に対し、収納済歳入額は 17,204 百万円であって、差引き 107 百万円減少した。

ロ 歳出

平成 16 年度における歳出予算現額は 17,956 百万円であって、その内訳は歳出予算額 17,312 百万円、前年度繰越額 644 百万円である。

この予算現額に対し、支出済歳出額は 16,426 百万円、不用額は 1,529 百万円である。

③保険料等充当交付金勘定

イ 歳入

平成 16 年度における歳入予算額は、503,466 百万円である。

この予算額に対し、収納済歳入額は 449,726 百万円であって、差引き 53,740 百万円減少した。

ロ 歳出

平成 16 年度における歳出予算現額は歳出予算額 503,466 百万円である。

この予算現額に対し、支出済歳出額は 449,629 百万円、不用額は 53,836 百万円である。

(3) 道路整備特別会計

① 歳入

平成 16 年度における歳入予算額は、4,680,327 百万円であって、その内訳は当初

予算額 4,176,972 百万円、予算補正追加額 505,202 百万円、予算補正修正減少額 1,847 百万円である。

この予算額に対し、収納済歳入額は 5,459,136 百万円であって、差引き 778,808 百万円増加した。

② 歳出

平成 16 年度における歳出予算現額は 5,794,812 百万円であって、その内訳は歳出予算額 4,680,327 百万円（当初予算額 4,176,972 百万円、予算補正追加額 505,202 百万円、予算補正修正減少額 1,847 百万円）、前年度繰越額 1,084,978 百万円、特別会計予算総則第 14 条第 6 項の規定による経費増額 29,506 百万円である。

この予算現額に対し、支出済歳出額は 4,701,980 百万円、翌年度繰越額は 1,035,738 百万円、不用額は 57,093 百万円である。

(4) 治水特別会計

① 治水勘定

イ 歳入

平成 16 年度における歳入予算額は、1,385,900 百万円であって、その内訳は当初予算額 1,128,615 百万円、予算補正追加額 257,724 百万円、予算補正修正減少額 439 百万円である。

この予算額に対し、収納済歳入額は 1,567,868 百万円であって、差引き 181,968 百万円増加した。

ロ 歳出

平成 16 年度における歳出予算現額は 1,615,411 百万円であって、その内訳は歳出予算額 1,385,900 百万円（当初予算額 1,128,615 百万円、予算補正追加額 257,724 百万円、予算補正修正減少額 439 百万円）、前年度繰越額 211,144 百万円、特別会計予算総則第 14 条第 6 項の規定による経費増額 18,365 百万円である。

この予算現額に対し、支出済歳出額は 1,331,065 百万円、翌年度繰越額は 276,599 百万円、不用額は 7,746 百万円である。

② 特定多目的ダム建設工事勘定

イ 歳入

平成 16 年度における歳入予算額は、210,784 百万円であって、その内訳は当初予算額 202,598 百万円、予算補正追加額 8,258 百万円、予算補正修正減少額 73 百万円である。

この予算額に対し、収納済歳入額は 248,115 百万円であって、差引き 37,331 百

万円増加した。

□ 歳出

平成 16 年度における歳出予算現額は 243,217 百万円であって、その内訳は歳出予算額 210,784 百万円（当初予算額 202,598 百万円、予算補正追加額 8,258 百万円、予算補正修正減少額 73 百万円）、前年度繰越額 32,433 百万円である。

この予算現額に対し、支出済歳出額は 209,989 百万円、翌年度繰越額は 30,607 百万円、不用額は 2,620 百万円である。

(5) 港湾整備特別会計

① 港湾整備勘定

イ 歳入

平成 16 年度における歳入予算額は、401,142 百万円であって、その内訳は当初予算額 373,569 百万円、予算補正追加額 28,780 百万円、予算補正修正減少額 1,207 百万円である。

この予算額に対し、収納済歳入額は 416,421 百万円であって、差引き 15,278 百万円増加した。

□ 歳出

平成 16 年度における歳出予算現額は 462,921 百万円であって、その内訳は歳出予算額 401,142 百万円（当初予算額 373,569 百万円、予算補正追加額 28,780 百万円、予算補正修正減少額 1,207 百万円）、前年度繰越額 60,479 百万円、特別会計予算総則第 14 条第 6 項の規定による経費増額 1,299 百万円である。

この予算現額に対し、支出済歳出額は 399,808 百万円、翌年度繰越額は 57,639 百万円、不用額は 5,473 百万円である。

② 特定港湾施設工事勘定

イ 歳入

平成 16 年度における歳入予算額は、8,239 百万円であって、その内訳は当初予算額 8,288 百万円、予算補正修正減少額 48 百万円である。

この予算額に対し、収納済歳入額は 9,084 百万円であって、差引き 845 百万円増加した。

□ 歳出

平成 16 年度における歳出予算現額は 8,998 百万円であって、その内訳は歳出予算額 8,239 百万円（当初予算額 8,288 百万円、予算補正修正減少額 48 百万円）、

前年度繰越額 758 百万円である。

この予算現額に対し、支出済歳出額は 8,791 百万円、翌年度繰越額は 149 百万円、不用額は 56 百万円である。

(6) 自動車検査登録特別会計

① 歳入

平成 16 年度における歳入予算額は、57,209 百万円であって、その内訳は当初予算額 57,240 百万円、予算補正修正減少額 30 百万円である。

この予算額に対し、収納済歳入額は 60,993 百万円であって、差引き 3,783 百万円増加した。

② 歳出

平成 16 年度における歳出予算現額は 49,568 百万円であって、その内訳は歳出予算額 48,610 百万円（当初予算額 48,640 百万円、予算補正修正減少額 30 百万円）、前年度繰越額 958 百万円である。

この予算現額に対し、支出済歳出額は 46,255 百万円、翌年度繰越額は 989 百万円、不用額は 2,323 百万円である。

(7) 都市開発資金融通特別会計

① 歳入

平成 16 年度における歳入予算額は、85,090 百万円である。

この予算額に対し、収納済歳入額は 92,259 百万円であって、差引き 7,168 百万円増加した。

② 歳出

平成 16 年度における歳出予算現額は 89,820 百万円であって、その内訳は歳出予算額 85,090 百万円、前年度繰越額 4,729 百万円である。

この予算現額に対し、支出済歳出額は 68,355 百万円、翌年度繰越額は 8,378 百万円、不用額は 13,086 百万円である。

(8) 空港整備特別会計

① 歳入

平成 16 年度における歳入予算額は、480,314 百万円であって、その内訳は当初予算額 472,246 百万円、予算補正追加額 8,244 百万円、予算補正修正減少額 177 百万円である。

この予算額に対し、収納済歳入額は 527,811 百万円であって、差引き 47,497 百万

円増加した。

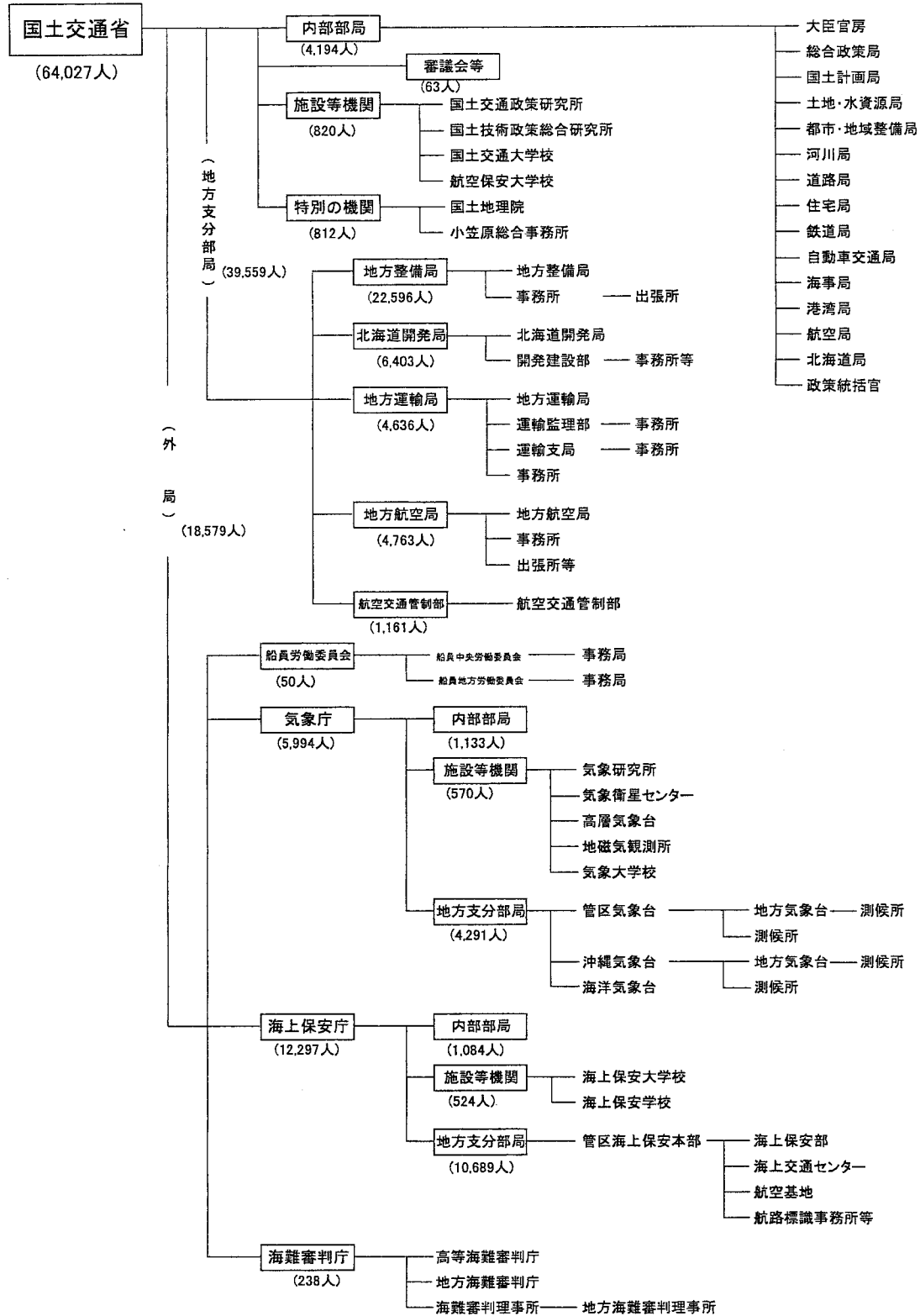
② 歳出

平成 16 年度における歳出予算現額は 506,642 百万円であって、その内訳は歳出予算額 480,314 百万円（当初予算額 472,246 百万円、予算補正追加額 8,244 百万円、予算補正修正減少額 177 百万円）、前年度繰越額 22,268 百万円、特別会計予算総則第 14 条第 6 項の規定による経費増額 4,060 百万円である。

この予算現額に対し、支出済歳出額は 460,588 百万円、翌年度繰越額は 29,840 百万円、不用額は 16,213 百万円である。

国土交通省の組織及び職員数(平成16年度末現在)

<組織図>



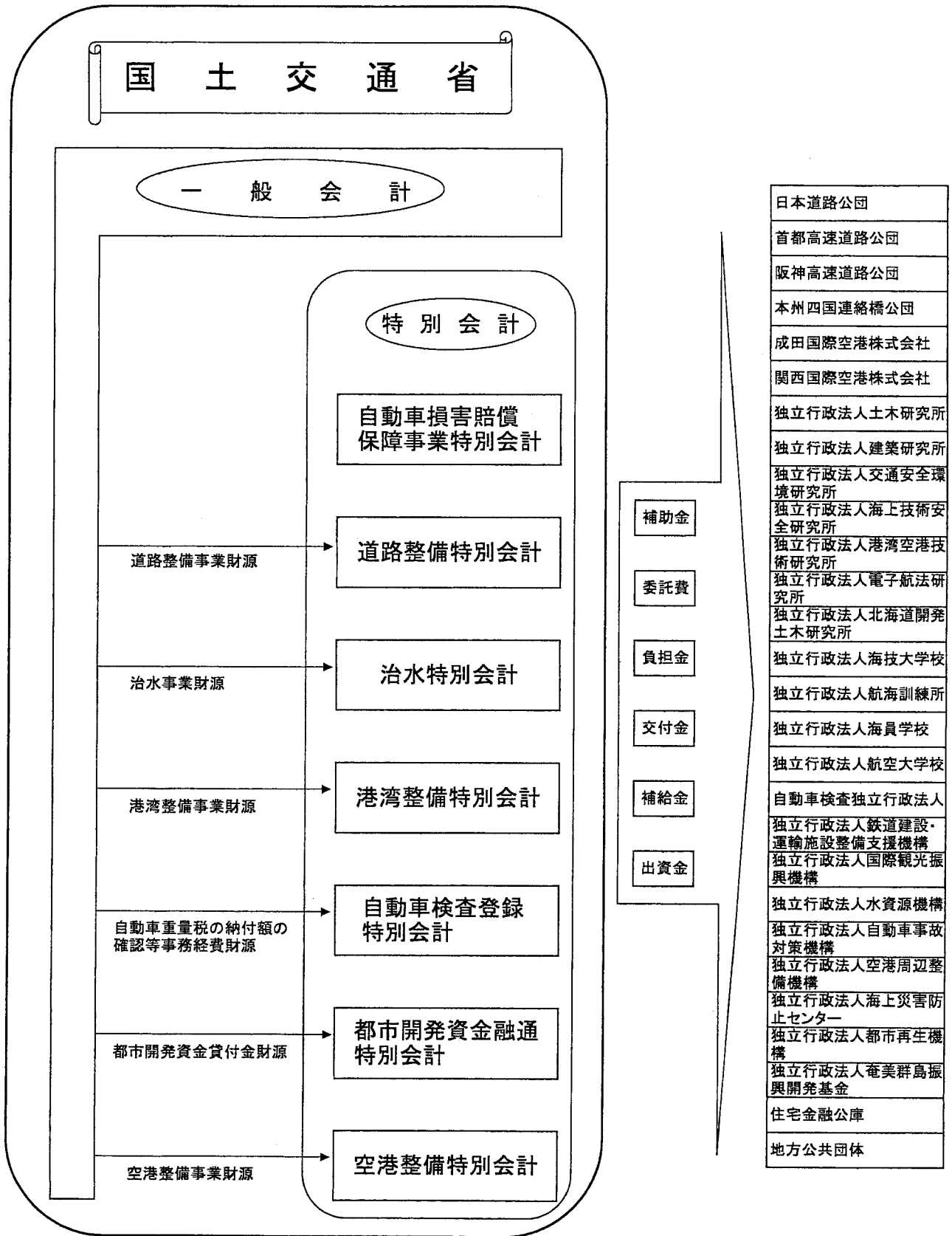
(注)平成16年度予算定員である。

<職員数(会計別)>

一般会計	35,721人	港湾整備特別会計	2,176人
自動車損害賠償保障事業特別会計	94人	自動車検査登録特別会計	1,976人
道路整備特別会計	8,197人	空港整備特別会計	7,429人
治水特別会計	8,434人	合計	64,027人

(注)平成16年度予算定員である。

国土交通省における会計・特殊法人等への間の財政資金の流れ



(注)法人の名称は平成16年度末現在である。